

を除いても、消費税率の2%引き上げにより、国民には4兆4000億円もの負担増が重くのしかかってきます。

来年のえとは「さる」。中国の故事で「朝三暮四」の話があります。猿の飼い主がトチの実を朝三つ、夕方四つ与えると言ったところ、猿たちから不平が出たので、朝四つ、夕方三つにすると言ったら喜んだ、という話です。

消費税の「軽減税率」をどうするかや、増税分の戻し給付金など論議の混乱ぶりを見ていると、まさに朝三暮四です。来年の参議院選挙目当てにしても、あまりに見え透っているではありませんか。

昨年4月の消費税率8%への引き上げにより、市内のいくつかの小売店が閉店に追い込まれました。厚木市の公共施設使用料の値上げもあります。さらに2017年4月から消費税増税等々、市民の生活は苦しくなっています。

市民負担を増大させる、放課後児童クラブ育成料の新設を含む条例及び、学校給食費の値上げに反対いたします。